

平成21年9月期 第1四半期決算短信

平成21年1月30日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社フルキャストホールディングス
コード番号 4848 URL http://www.fullcast.co.jp

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 漆崎 博之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 CFO (氏名) 常葉 浩之
エグゼクティブオフィサー (氏名) 北川 太

TEL 03-4530-4830

四半期報告書提出予定日 平成21年2月13日

(百万円未満四捨五入)

1. 平成21年9月期第1四半期の連結業績(平成20年10月1日～平成20年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年9月期第1四半期	19,456	—	△273	—	△282	—	△1,647	—
20年9月期第1四半期	24,433	△12.9	51	△96.3	25	△98.2	9	△98.7

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年9月期第1四半期	△6,216.70	—
20年9月期第1四半期	35.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
21年9月期第1四半期	28,510	7,233	20.8	22,356.16		
20年9月期	36,697	10,969	20.6	28,591.84		

(参考) 自己資本 21年9月期第1四半期 5,921百万円 20年9月期 7,573百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
21年9月期	—	—	—	—	—
21年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成21年9月期の連結業績予想(平成20年10月1日～平成21年9月30日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	39,960	—	△50	—	△135	—	△1,387	—	△5,236.65
通期	81,000	△18.2	870	△47.2	670	△56.2	0	—	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 有
新規 一社(社名) 除外 1社(社名 アジアパシフィックシステム総研株式会社)

(注) 詳細は4ページ 4. その他 をご覧下さい。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は4ページ 4. その他 をご覧下さい。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 21年9月期第1四半期 275,964株 20年9月期 275,964株

② 期末自己株式数 21年9月期第1四半期 11,100株 20年9月期 11,100株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 21年9月期第1四半期 264,864株 20年9月期第1四半期 264,864株

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表等規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

・本資料に掲載されている当社グループの計画、見通し、戦略などのうち、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断に基づいております。従いまして、当社グループの業績、企業価値等を検討されるに当たりましては、これらの見通しにのみ全面的に依拠されることは控えて下さるようお願いいたします。実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知お下さい。

・実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済・金融情勢および雇用情勢の変化、(2)地震などの災害に伴う企業インフラの損害、(3)当社グループの行う事業に適用のある労働基準法、労働者派遣法等の関連法令の変更、解釈の変更などです。

・また、新たな情報、将来の事象、その他の結果により、常に当社グループが将来の見通しを見直すとは限りません。業績予想の前提条件その他の関連する事項については、4ページ 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧下さい。

